

堀内・城下町・平安古地区ゆかりの幕末の志士・藩士たちにまつわるストーリー

江戸期



19 村田清風 (1783~1855)

維新の礎・村田清風の天保の改革

村田清風は、天保年間に藩の財政改革を進めました。また防長四白(米・塩・紙・蠟)による産業の振興や教育改革などに貢献し、その後の坪井九右衛門・周布政之助らの改革に大きな影響を残しました。

ポイント

萩藩での天保の改革は？

13代藩主毛利敬親に起用された村田清風が中心になって天保11年(1840)ごろから行った藩政改革。人材の登用、藩財政の開示と赤字財政の克服、藩外資金の増収、軍事力の強化、明倫館の拡充などを行いました。

志半ばで散った志士・藩士たち



18 久坂玄瑞 (1840~1864)

松山村塾の双壁 久坂玄瑞

久坂玄瑞は、吉田松陰から「天下の英才」と絶賛され、その妹と結婚しました。松陰没後はその遺志を受け継ぎ、尊王攘夷運動を推進し攘夷の急先鋒として活動。京都を追放された長州尊攘派の失地回復を目指して奔走するも、禁門の変に敗れ自刃しました。

ポイント

禁門の変とは？

元治元年(1864)7月19日、長州藩と会津藩・薩摩藩らの間で起きた戦闘。蛤御門の変ともいいます。尊王攘夷を主張し朝廷に支配的影響力を有していた長州藩は、文久3年(1863)8月18日の政変で京都から追われたため、一部の過激派が実行行使で巻き返しを図ろうとしていました。

幕末期



27 高杉晋作 (1839~1867)

幕末の風雲児 高杉晋作

高杉晋作は、久坂玄瑞と並び「松門の竜虎・双壁」と称され、欧米列強に支配された上海視察で衝撃を受け、日本の危機を救おうと使命感を燃やしました。奇兵隊を結成し拳兵、内戦を経て幕府軍撃退の指揮を小倉口で執るも、結核に倒れ下関で病死しました。

ポイント

奇兵隊とは？

文久3年(1863)6月、農民など身分を問わず志のある者なら誰でも入れる軍隊として晋作が結成。下関防衛を目的として結成されましたが、長州藩の方針が攘夷から倒幕へと移ることに従い、外国軍から幕府軍へと戦う相手も変わっていきました。

長州藩・三家老の悲劇

禁門の変により、長州藩は「朝敵」つまり天皇に背く敵となり、天皇は幕府に長州征討を命じます。一方、長州藩では尊攘改革派が失脚し、棕梨藤太ら保守派が実権を握り、幕府に恭順します。保守派は、禁門の変の責任者として益田右衛門介(親施)・福原越後(元簡)・国司信濃(親相)の三家老を切腹させ、その首を幕府へ差し出して謝罪しました。堀内地区には犠牲となった三家老の屋敷跡が点在しています。

ポイント

薩長同盟とは？

藩の実権を握った木戸孝允が慶応2年(1866)1月、坂本龍馬の仲介により京都で西郷隆盛と薩長同盟を結び、幕府への対抗を目指すようになりました。



7 国司信濃 (1842~1864) 3 益田右衛門介 (1833~1864) 8 福原越後 (1815~1864)



23 桂小五郎 (木戸孝允) (1833~1877)

松陰門下の兄貴分 桂小五郎(木戸孝允)

桂小五郎は、藩校明倫館で吉田松陰に兵学を学び、京都で尊王攘夷運動に奔走するも、禁門の変後は但馬国出石(兵庫県豊岡市)に潜伏。慶応2年(1866)、長州藩を代表して薩長同盟を締結、さらに版籍奉還や廃藩置県などを推進し、中央集権国家の樹立に貢献しました。

ポイント

薩長同盟とは？

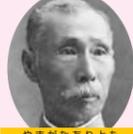
藩の実権を握った木戸孝允が慶応2年(1866)1月、坂本龍馬の仲介により京都で西郷隆盛と薩長同盟を結び、幕府への対抗を目指すようになりました。

明治維新後の長州人の活躍

明治期



楯取素彦 (1829~1912)



山県有朋 (1838~1922)



杉孫七郎 (1835~1920)



桂 太郎 (1847~1913)



伊藤博文 (1841~1909)



田中義一 (1864~1929)

明治4年(1871)、新政府は地方制度を改め、藩を廃止して県を置き、各県には県令(現在の県知事)を、東京・大阪・京都には府知事を置きました。その際には、楯取素彦や杉孫七郎など藩校明倫館などで学んだ長州出身者が県令に就きました。また、明治18年(1885)、内閣制度ができると、伊藤博文ほか山県有朋や桂太郎、田中義一などが総理大臣や各大臣に就任しました。

町並みに表れる時代の流れを感じてみよう！

●時代を伝える石垣

城下の石垣を見ると、石の加工や積み方の違いから時代の重なりを知ることができます。きれいに整えられた下の段は江戸期のもの、乱雑に積まれた上の段は明治期のものと考えられます。

●土塀と夏みかん

武家屋敷を夏みかん畑に変え、少しでも畑地を広げようとしたことで道幅が狭くなっています。土塀の上からのぞく夏みかんの風景は萩独特の景観です。マップにポイントが掲載されています。

●幕末の志士も眺めていた美しい風景

●橋本川河畔の風景
橋本川沿いには大きな松の並木があり、美しい河畔の風景を作っています。今も川沿いには川を眺める別荘の形の屋敷が所々に残っていて、萩八景遊覧船では橋本川からこれらを眺めることができます。

●菊ヶ浜の風景

菊ヶ浜からは、美しい夕焼けや漁火の夕景を眺めることができます。菊ヶ浜から見える島々は「萩六島」と呼ばれ、火山噴火でできた溶岩台地の島です。平らな溶岩台地は世界的にも貴重な景観です。

維新の礎となる人材を育成した藩校・明倫館

旧萩藩校明倫館跡(堀内)

藩校明倫館は5代藩主毛利吉元により、享保4年(1719)萩城三の丸(堀内)に創設されました。

旧萩藩校明倫館(江向)

13代藩主毛利敬親により、文武奨励を目的に嘉永2年(1849)に萩城下の中央に移転・拡充されました。吉田松陰は、両方で兵学を教えていました。その後、松陰は松山村塾で志士として活躍する多くの若者たちを指導します。

武士を救った夏みかんストーリー

小幡高政は、幕末期には萩町奉行、江戸、大阪の留守居役などを歴任。安政6年には吉田松陰への死罪宣告にも立ち会い、四境戦争では芸州口に出陣しました。明治維新後は禄を失い生活に苦しむ士族の救済のため夏みかんの栽培に着手、耐久社を設立し、産業化に成功。萩を代表する名産品に育てあげました。



15 小幡高政 (1817~1906)

夏みかん栽培発祥を伝える橙園之記

高政は、自邸(現在の旧田中別邸)が夏みかん栽培発祥の地であることを後世に伝えるため、明治23年(1890)に「橙園之記」の碑を建て、次のように記しました。

「夏みかん畑は、明治9年(1876)この場所に初めて開かれました。その後繁殖して14年後の今日では、この畑の夏みかんは五百本余りになりました。最初は皆、私(小幡)が率先して夏みかんを栽培するのを疑いの目でみたり、あざ笑ったりしました。しかし、今日、夏みかんの栽培が盛んになるにつれ、そのような人々も、少しの空き地があれば、夏みかんを栽培するようになりました。こうして、夏みかんは萩の名産となり、全国の人々に好まれ、評判の果実となりました」

小幡高政旧宅地(旧田中別邸)にある橙園之記

施設のご案内



萩博物館

住 所：山口県萩市堀内355
TEL：0838-25-6447 時 間：9:00~17:00
料 金：大人 510円、高・大学生 310円、小・中学生 100円
※NPO萩まちじゅう博物館による無料館内ガイドあり
休館日：なし(9月上旬臨時休館日1日)



山口県立萩美術館・浦上記念館

住 所：山口県萩市平安古町586-1
TEL：0838-24-2400
時 間：9:00~17:00
料 金：大人 510円、学生 200円
特別展示は別途観覧料が必要
休館日：月曜日、年末年始、展示替え期間



菊屋家住宅

住 所：山口県萩市呉服町1-1
TEL：0838-25-8282
時 間：8:30~17:30
料 金：大人 600円
中・高校生 300円、小学生 200円
休館日：12/31



熊谷美術館

住 所：山口県萩市今魚店町47
TEL：0838-25-5535
時 間：9:00~16:00
料 金：大人 700円
小人 400円
休館日：月・水・金曜日、年末年始



平安古かいまがり交流館

住 所：山口県萩市平安古町145-1
TEL：0838-25-5185
時 間：9:00~17:00
料 金：無料
休館日：毎週水曜日、年末年始



萩史料館

住 所：山口県萩市堀内83-33
TEL：0838-25-2132
時 間：3月~11月(9:00~17:00)
12月~2月(9:00~16:30)
料 金：大人500円、高・大学生300円
小・中学生200円
休館日：火曜日(祝祭日の場合は翌日)

堀内・平安古・城下町地区の季節暦

春	夏	秋	冬
<ul style="list-style-type: none"> 萩八景遊覧船運行開始(3月11日) 萩八景遊覧船乗り場(指月公園)開き(萩城跡指月公園)2月上旬) 萩八景遊覧船(2月上旬) 	<ul style="list-style-type: none"> 萩・日本海大花火大会(8月1日) 海開き(7月中旬) 砂の芸術祭(7月第4日曜日) 	<ul style="list-style-type: none"> 萩オープンガーデン(5月第2週~3週) 萩夏みかんまつり(旧田中別邸)5月中旬) 萩大茶会(萩城跡指月公園ほか)5月3日、4日 夏みかんの花・開花(5月中旬) お花見(3月末~4月) 萩城下の古き雑たち(旧久保田家住宅、旧萩家住宅、旧田中別邸ほか)2月3日~4月3日 	<ul style="list-style-type: none"> 萩時代まつり平安古備組・大名行列(11月第2日曜日) 萩・竹灯路物語(萩城下町周辺・10月第2金・土・日曜日) 着物ウィークin萩(萩城下町周辺・10月上旬) 萩時代まつり平安古備組・大名行列(11月第2日曜日) 萩・竹灯路物語(萩城下町周辺・10月第2金・土・日曜日) 着物ウィークin萩(萩城下町周辺・10月上旬)

ガイドのご案内

NPO萩観光ガイド協会
時間/9:00~17:00
申込/TEL 0838-25-3527
※3日前までに要予約

(公社)萩市観光協会
時間/9:00~17:45
申込/TEL 0838-25-1750
※要事前予約

H27.3 現在

編集 | 萩まちじゅう博物館推進委員会堀内内部会
発行 | 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

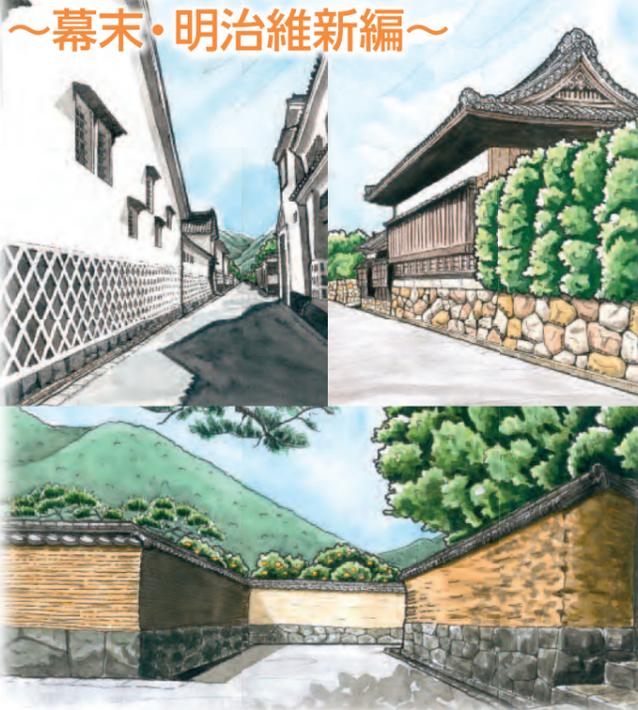
平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)



萩まちあるきマップ

堀内・平安古・城下町地区

おたからマップ



~堀内・平安古・城下町の町並み~

堀内は萩城三の丸に位置し、藩の重臣が住んでいたところで、町筋に沿って長い土塀、石垣や長屋門が残っています。外堀の周囲に位置する平安古・城下町は中下級武士・町人が住んでいて、御成道には豪商が軒を連ねていました。町筋は碁盤目状に画されていて、なまこ壁の土蔵や土塀、志士の旧宅などが残っており、江戸時代の面影をよくとどめています。幕末・明治維新の激動の時代を経て、その当時の区画がほとんど変わらない町並みを歩いて、幕末から明治を駆け抜けた志士たちの足跡をたどってみませんか。



このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩データベースでチェック!!
machihaku.city.hagi.lg.jp/db/



※1写真：春風文庫蔵、※2肖像画：群馬県立歴史博物館蔵、その他の肖像写真：萩博物館蔵

